



札幌市議会議員

こじま ゆみ



除排雪対策の雪捨て場に豊平川河川敷等、利用拡大の推進!

昨冬の札幌は特に雪が多く、除雪や交通渋滞で大変な思いをされた方も多かった事と存じます。札幌市の除排雪事業は、除雪方法や排雪の基準等、試行錯誤をしながら、対策を行っていますが、ここ数年は維持が難しくなっています。

その要因の一つには、作業の大半を担っている建設事業者の person 費の上昇と深刻な高齢化による人材不足が挙げられます。また、以前は豊平川の河川敷に多くの雪捨て場がありましたが、河川環境の保全などを理由に次々と廃止され、雪捨て場が郊外に追いやられています。そのため、雪堆積場まで遠くなりダンプカーの回転率を下げ、コスト増と作業効果の低下の大きな要因にもなっています。これらの問題点を調査・整理して、解決に向けた具体的な行動を進めてまいります。



令和3年度は雪対策事業に年間300億

雪対策事業は、道路の除雪・排雪、雪堆積場の確保、ロードヒーティング等、事業内容は様々です。その中で最も費用がかかるのは「排雪」で予算の半分程を占めています。



雪対策には毎年200億円以上の予算が計上され、年々右肩上がりに増えています。令和3年度は記録的な大雪による排雪量の増加、燃料代の高騰などの影響により、補正予算を合わせて初めて地域支払額が300億円を突破いたしました。

令和4年度パートナーシップ排雪制度における地域支払い額

機械経費、人件費、燃料費で構成され、国から示されるその年度の機械損料や労務単価、札幌地区の12月1日の軽油単価を用いて算出しています。その結果、令和4年度は令和3年度と比べて1,2000円/km増の528,400円/kmとなりましたが、今年度は、物価高騰と町内会活動の負担も考え、令和3年度の金額に据え置くことになりました。令和4年10月に公布された「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」における支援策として、パートナーシップ排雪は、地域の実情に応じて標準断面と抑制断面の選択制を導入しています。

地域支払い額の軽減に向けた取り組みとしての令和4年度地域支払い額
 標準断面：516,400円/km 抑制断面：361,500円/km

新型コロナウイルス感染症、新規感染者数の急増

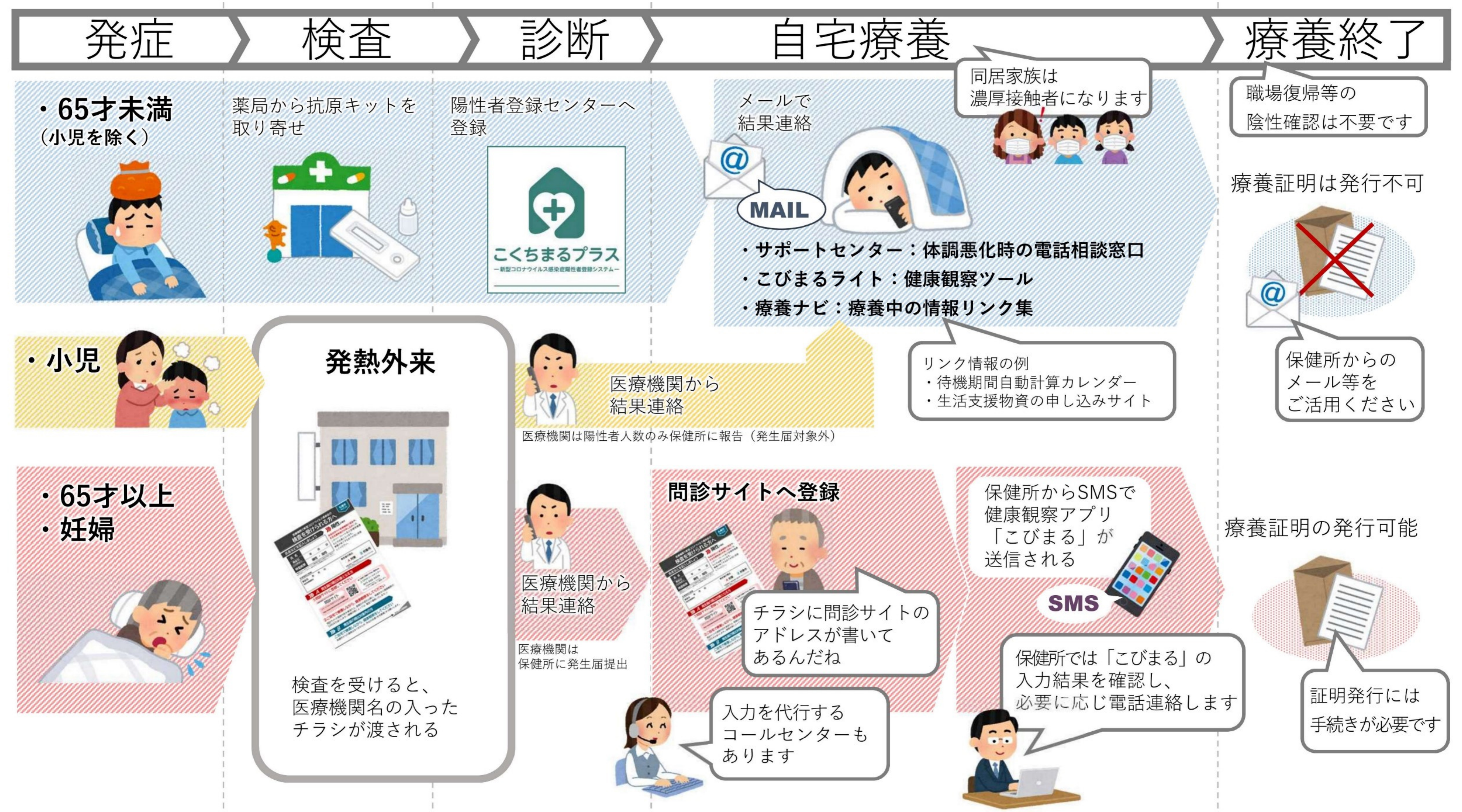
令和4年10月下旬から、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が急増しております。さらに、この冬は季節性インフルエンザとの同時流行により多くの発熱患者が発生することが懸念されます。

限りある医療資源を重症化リスクの高い方などに重点化するため、市民の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



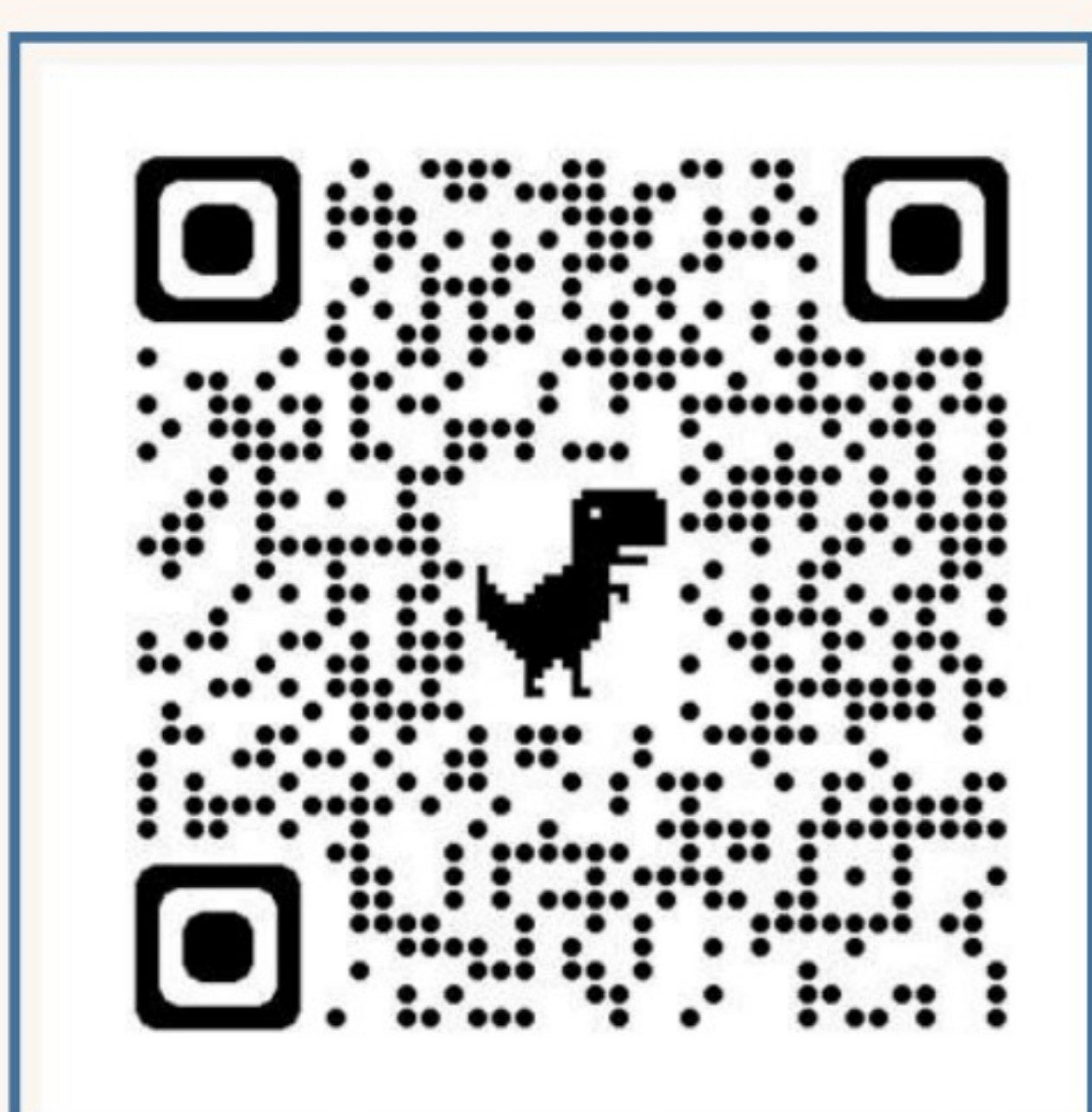
陽性者となった方の必要な情報は、「療養ナビ」(左のQRコード)からご確認ください。

WEB登録が難しい場合は、毎日9時～20時、療養判定入力代行コールセンター **011-350-5574** (医療機関で検査を受けた方は、予め診察券をお手元にご用意ください。)



札幌市では、新型コロナウイルス陽性と確定診断された方には、原則として自宅での療養をお願いしております。体調に不安のある方は、(8時～21時)札幌市陽性者サポートセンター **0570-022-680** にご連絡ください。

著しく健康状態の悪い方や透析治療中、妊娠中の方など、「入院調整」や「保健所からの電話による健康観察」が必要と判断される方に、順次、電話により連絡させていただいております。それ以外の方は、原則として療養終了のお知らせ等も含めて札幌市からの連絡はありません。



薬局から無料で医療用抗原検査キットを配送しています。

詳細は左のQRコードを読み込みご確認ください。

- ① 救急安心センターさっぽろ **#7119** または **011-272-7119**
- ② 札幌市新型コロナウイルス健康相談ダイヤル **0570-085-789**
- ③ 新型コロナウイルスに係る厚生労働省電話窓口 **0120-565653**

※②③毎日9:00～21:00